



ユーザーガイド

概要

このガイドでは、モニターの技術仕様や特長およびモニターの設置方法や使用方法について説明します。

法的情報

© Copyright 2021 HP Development Company, L.P.

HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。Thunderbolt および Thunderbolt ロゴは、米国 Intel Corporation およびその関連会社の米国およびその他の国における商標です。Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。USB Type-C®および USB-C®は、USB Implementers Forum の登録商標です。DisplayPort™、DisplayPort™ロゴおよび VESA®は、米国 Video Electronics Standards Association (VESA) が所有する米国およびその他の国における商標または登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては、責任を負いかねますのでご了承ください。

製品についての注意事項

このガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いの製品では使用できない場合があります。最新版のユーザーガイドを確認するには、<http://www.hp.com/support> にアクセスし、説明に沿ってお使いの製品を探します。[ユーザーガイド]を選択します。

初版：2021 年 8 月

製品番号：M84616-291

このガイドについて

このガイドでは、モニターの技術仕様や特長、モニターの設置方法、およびソフトウェアの使用方法について説明します。お使いのモニターのモデルによっては、このガイドに記載されている機能の一部が備わっていない場合があります。

-
- ⚠ **警告！** 回避しなければ重傷または死亡に至る**可能性のある危険な状況**を示します。
 - ⚠ **注意：** 回避しなければ軽度または中度の傷害に至る**可能性のある危険な状況**を示します。
 - 📖 **重要：** 重要と考えられるものの、危険性に関わるとは見なされない情報を示します（本体の損傷に関する記載など）。説明に沿って正しく操作しなければ、データの損失やハードウェアまたはソフトウェアの破損を引き起こす可能性があることをユーザーに警告します。また、概念を説明したり、タスクを完了したりするための重要な情報を示します。
 - 📖 **注記：** 本文の重要なポイントを強調または補足する追加情報を示します。
 - 💡 **ヒント：** タスクを完了させるために役立つヒントを示します。
-



この製品には HDMI（High-Definition Multimedia Interface）テクノロジーが搭載されています。

目次

1 お使いになる前に	1
安全に関する重要な情報.....	1
HP が提供するその他の資料.....	2
お問い合わせになる前に.....	2
モニターの概要.....	3
特長.....	3
前面の各部.....	4
背面の各部.....	5
シリアル番号と製品番号の位置.....	6
モニターの設置.....	6
モニター スタンドの取り付け.....	7
モニター本体の取り付け.....	8
モニター スタンドの取り外し.....	8
取り付け器具へのモニター本体の取り付け.....	9
ケーブルの接続.....	10
USB デバイスの接続（一部の製品のみ）.....	14
モニターの調整（一部の製品のみ）.....	15
セキュリティ ロック ケーブルの取り付け.....	16
モニターの電源投入.....	16
しみおよび画像の焼き付きに関する HP のポリシー.....	17
2 [KVM Mode]（KVM モード）を使用した 2 番目のコンピューターのモニターへの接続	18
[KVM Mode]（KVM モード）での切り替え.....	19
[KVM Mode]（KVM モード）接続の優先度.....	19
3 モニターの使用	20
ソフトウェアおよびユーティリティのダウンロード.....	20
情報ファイル.....	20
Image Color Matching ファイル.....	20
オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューの使用.....	20
オンスクリーン ディスプレイ（OSD）の機能ボタンの使用.....	21
機能ボタンの再割り当て.....	22
ディスプレイ モードの状態.....	22
電源モード設定の変更（一部の製品のみ）.....	23
自動スリープモードの使用（一部の製品のみ）.....	23
カメラの使用.....	24
[Windows Hello]の顔認識の設定.....	25

コンピューターのカメラでの[Windows Hello]の使用.....	25
モニターのカメラで[Windows Hello]を使用する.....	25
PiP と PbP の使用（一部の製品のみ）.....	25
ブルー ライトの発光の調整（一部の製品のみ）.....	26
低ブルー ライト モードの使用（一部の製品のみ）.....	26
4 サポートおよびトラブルシューティング.....	27
一般的なトラブルの解決方法.....	27
ボタンのロックアウト.....	28
自動調整機能の使用（アナログ入力）.....	28
画質の最適化（アナログ入力）.....	29
5 モニターの保守.....	31
保守に関するガイドライン.....	31
モニターの清掃.....	31
モニターの運搬.....	32
付録 A 技術仕様.....	33
34 インチ（対角長 86.4 cm）モデルの仕様.....	33
プリセットディスプレイ解像度.....	34
プリセットディスプレイ解像度.....	34
高解像度ビデオ フォーマット.....	34
省電力機能.....	35
付録 B ユーザー サポート.....	36
HP とユーザー サポート.....	36
必要なテクノロジツールの確認.....	36
HP の取り組み.....	36
IAAP（International Association of Accessibility Professionals）.....	37
最適な支援技術の確認.....	37
ご自身のニーズの評価.....	37
HP 製品のユーザー サポート.....	37
標準および法令.....	38
標準.....	38
Mandate 376 – EN 301 549（欧州連合同向け）.....	38
WCAG（Web Content Accessibility Guidelines）.....	38
法令および規制.....	39
ユーザー サポートに関する役立つリソースおよびリンク.....	39
組織（英語のみ）.....	39
教育機関（英語のみ）.....	40
障がいに関するその他のリソース（英語のみ）.....	40
HP のリンク.....	40
サポート窓口へのお問い合わせ.....	40

1 お使いになる前に

この章では、安全に関する情報および HP が提供するさまざまな情報の入手方法などについて説明しています。

安全に関する重要な情報

お使いのモニターには電源コードが付属している場合があります。別のコードを使用する場合は、このモニターに適した電源と接続方法のみをお使いください。モニターに接続する適切な電源コードについて詳しくは、『Product Notices』（製品についての注意事項）を参照してください。このドキュメントは、ドキュメントキットに収録されています。

⚠ 警告！ 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

- 電源コードは常に、装置の近くの手が届きやすい場所にある電源コンセントに接続してください。
- 電源コードに 3 ピン プラグが付いている場合、電源コードをアース（接地）端子付きのコンセントに差し込んでください。
- 電源コードを電源コンセントから抜いて、コンピューターへの電源供給を遮断してください。電源コードを電源コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。モニターに接続するすべてのコードおよびケーブルについて、踏んだり、抜けたり、引っかかったり、人がつまずいたりしないように注意して配線してください。

操作する人の健康を損なわないようにするため、製品とともに提供されているユーザー ガイドの中の『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をするときの正しい姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しています。『快適に使用していただくために』では、重要な電氣的/物理的安全基準についての情報も提供しています。『快適に使用していただくために』は、Web サイト、<http://www.hp.com/ergo> から表示できます。

📌 重要：モニターおよびコンピューターの損傷を防ぐために、コンピューターおよび周辺装置（モニター、プリンター、スキャナーなど）のすべての電源コードをマルチソケットや無停電電源装置 (UPS) などのサージ防止機能のあるサージ保安器に接続してください。マルチソケットの種類によっては、サージに対応していない場合があります。サージ防止機能のあるマルチソケットを使用することをおすすめします。サージ防止に失敗した場合は機器を交換できるように、損傷交換ポリシーを提供している製造販売元のマルチソケットを使用してください。

お使いのモニターは、十分な大きさがあり丈夫で安定しているモニター設置用の台などに設置してください。

⚠ 警告！ 化粧だんす、本棚、棚、机、スピーカー、チェスト、またはカートなどの上にモニターを不用意に置いた場合、モニターが倒れて怪我をするおそれがあります。

⚠ 警告！ 安定性に注意：デバイスが倒れたり落下したりして、深刻な怪我や死亡につながるおそれがあります。怪我や事故を防ぐため、設置手順に従って床または壁にしっかりとモニターを取り付けてください。

⚠ **警告!** この機器は、子どもがいる可能性がある場所での使用には適していません。

📖 **注記:** この製品は、エンターテインメント目的に適しています。モニターを設置するときは、近くにある光源やその他の周辺光が原因で画面の乱反射が起きることのないよう、照明を調節した環境に設置するようにしてください。

HP が提供するその他の資料

製品の詳細情報、各種の手順などを確認するには、下の表を参照してください。

表 1-1 追加情報

リソース	目次
『セットアップ手順』	モニターのセットアップおよび機能の概要
HP サポート	HP のサポートを取得したり、ハードウェアまたはソフトウェアの問題を解決するには、 http://www.hp.com/support にアクセスしてください。説明に沿ってお使いの製品を探します。 または タスクバーの[検索]アイコンを選択し、検索ボックスで「support」と入力して[HP Support Assistant]を選択します。 または タスクバーにある疑問符のアイコンを選択します。

注記: お使いのモニターに付属している電源コードまたはその他のケーブルを交換する場合は、HP のサポート窓口にお問い合わせください。

お問い合わせになる前に

問題のトラブルシューティングを行う必要がある場合は、この情報を参考にしてください。

27 ページの「[サポートおよびトラブルシューティング](#)」を参照しても問題が解決しない場合は、テクニカルサポートも利用できます。HP のサポート窓口にお問い合わせになるときに、以下のような情報を事前にご準備いただくと、解決がより迅速になる場合があります。

- モニターのモデル番号
- モニターのシリアル番号
- 購入年月日および購入店名
- 問題が発生したときの状況（できるだけ具体的にお願いします）
- 表示されたエラー メッセージ
- ハードウェア構成
- 使用しているハードウェアおよびソフトウェアの名前とバージョン

モニターの概要

モニターは、優れた特長を備えています。このセクションでは、各部の詳細、位置、およびその機能について説明します。

特長

お使いのモニターのモデルに応じて、以下の機能が備わっている場合があります。

ディスプレイの特長


- 3440×1440 以下の解像度をサポートする、34 インチ（対角長 86.4 cm）の表示画面領域。オリジナルの縦横比を保ったまま、画像の最大のサイズまで自由に拡大することも可能
- アクティブマトリクス方式の IPS（In-Plane Switching）を採用した液晶ディスプレイ（LCD）
- ワイドなカラー ガマットによって、sRGB、NTSC、および DCI P3 の色空間をカバー
- LED バックライト付きノングレアパネル
- 立った位置や座った位置でも、左右に移動したりしても、広域な角度から見る事ができる画面表示
- 傾斜角度、画面の左右の向きおよび高さを調整可能
- デュアル PiP（Picture in Picture）および PbP（Picture by Picture）機能によって 2 分割した画面に DisplayPort および HDMI 入力をそれぞれ並べて表示することが可能
- 4 つのオンスクリーンディスプレイ（OSD）ボタンのうち 3 つが再設定可能なので、頻繁に使用する操作をすばやく選択可能
- 簡単な設定で画面の最適化を可能にする、OSD による画面調節機能（複数の言語に対応）
- sRGB D 65、Rec 709、DCI P3 用の色空間プリセット
- 低消費電力の環境要件に準拠した省電力機能
- 別売のセキュリティ ロック ケーブル用のスロットをモニターの背面に装備
- ケーブルやコードの配線に役立つケーブル管理機能

コネクタ

- DisplayPort™ ビデオ入力
- HDMI（High-Definition Multimedia Interface™）ビデオ入力
- USB Type-C®ポート
- USB ハブ（コンピューター（アップストリーム）に接続する USB Type-B ポート×1、USB デバイス（ダウンストリーム）に接続する USB ポート×4）
- プラグアンドプレイ機能（オペレーティングシステムでサポートされる場合）
- RJ-45（ネットワーク）コネクタ

モニター スタンド

- モニター本体を固定器具に取り付ける場合に便利な取り外し可能なモニター スタンド
- モニター本体を壁面取り付け器具またはスイングアームに取り付けるための VESA®準拠のマウントキット
- モニターをスイングアームマウントに取り付けるための VESA 固定機能 (100×100 mm)
- モニターにワークステーションを取り付けるためのマウントキットをサポート

 **注記:** 安全情報および規定に関する情報については、ドキュメントキットに収録されている『Product Notices』（製品についての注意事項）を参照してください。最新版のユーザーガイドを確認するには、<http://www.hp.com/support> にアクセスし、説明に沿ってお使いの製品を探します。【ユーザーガイド】を選択します。

前面の各部

以下の図と表でモニターの前面の各部の位置と名称を確認してください。

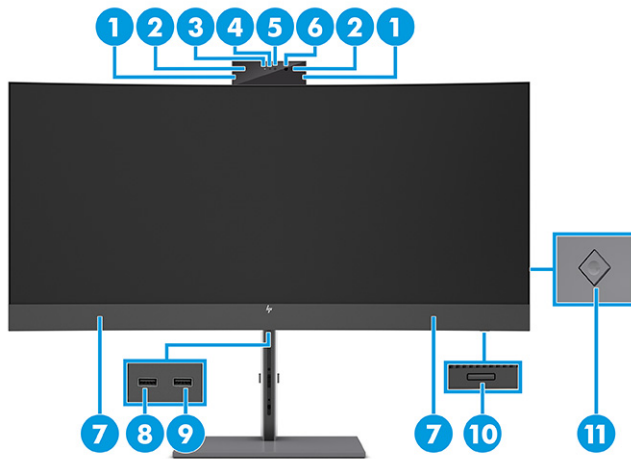


表 1-2 前面の各部とその説明

名称	説明
(1) 傾斜角度調整用レバー	カメラを傾斜させることができます。
(2) カメラマイク	ビデオ会議に参加できます。
(3) カメラランプ	点灯：カメラが使用中です。
(4) カメラ RGB レンズ	ビデオ会議で映像を送信します。
(5) カメラ IR レンズ	[Windows Hello]の顔認識のために画像を送信します。
(6) カメラ IR ランプ	顔認識用の追加 IR ランプ。

注記: カメラ IR ランプはオンになっていても、ユーザーがそれを確認できない場合があります。

表 1-2 前面の各部とその説明 (続き)

名称	説明
(7) スピーカー	サウンドを出力します。オーディオの音量調整機能は、オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューの[入力]メニューにあります。 注記: オーディオを最適な状態で使用するには、モニターからコンピューターに USB ケーブルを接続して、お使いの製品をサウンドデバイスとして選択します。
(8) USB ポート	キーボード、マウス、USB ハードディスク ドライブなどの周辺機器に USB ケーブルを接続します。バッテリー充電に対応しています。
(9) USB ポート	キーボード、マウス、USB ハードディスク ドライブなどの周辺機器に USB ケーブルを接続します。バッテリー充電に対応しています。
(10) 電源ボタン	モニターの電源のオン/オフを切り替えます。 注記: モニターの主電源スイッチがオンの位置になっていることを確認して、モニターの電源を入れます。
(11) OSD コントロール	OSD ボタンを有効にすることで、ボタンのラベルが画面の右側に表示されます。

背面の各部

以下の図と表でモニターの背面の各部の位置と名称を確認してください。

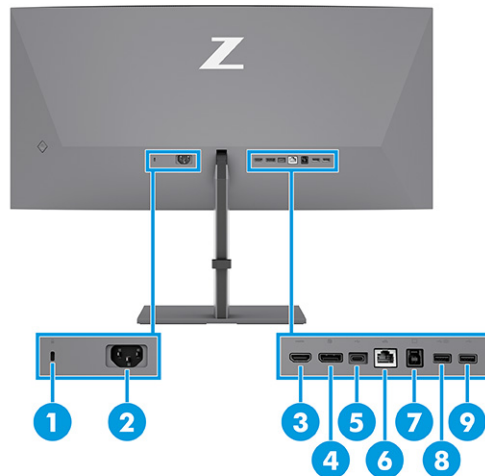


表 1-3 背面の各部とその説明

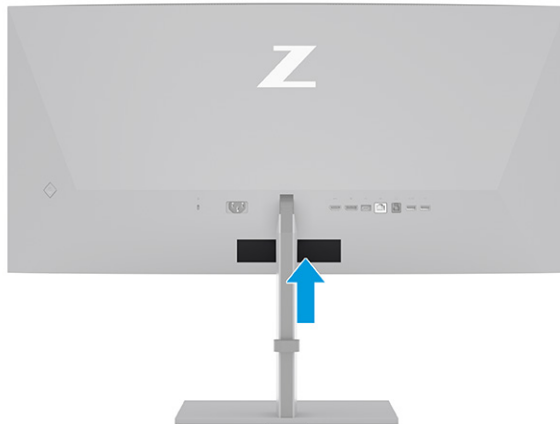
名称	説明
(1) セキュリティ ロック ケーブル用スロット	別売のセキュリティ ロック ケーブルを接続します。
(2) 電源コネクタ	モニターを電源コンセントに接続します。
(3) HDMI ポート	コンピューターやゲーム機などの入力デバイスに HDMI ケーブルを接続します。
(4) DisplayPort	コンピューターやゲーム機などの入力デバイスに DisplayPort ケーブルを接続します。

表 1-3 背面の各部とその説明 (続き)

名称	説明
(5) USB Type-C ポート	コンピューターやゲーム機などの入力デバイスに USB Type-C ケーブルを接続します。
(6) RJ-45 (ネットワーク) ポート	ネットワーク ケーブルを接続します。 <ul style="list-style-type: none"> ● 緑色 (左) : ネットワークに接続しています。 ● オレンジ色 (右) : ネットワークが動作しています。 注記 : MAC アドレスパススルー (HP モデルのみ)
(7) USB Type-B ポート (アップストリーム)	コンピューターやゲーム コンソールなどの入力デバイスに USB Type-B ケーブルを接続します。 注記 : USB Type-C ポートを使用しない場合にモニターの USB Type-A ポートを有効にするには、USB Type-B ケーブルを入力デバイスからモニターに接続する必要があります。
(8) USB ポート (KVM 接続を含む)	キーボード、マウス、USB ハードディスク ドライブなどの周辺機器に USB ケーブルを接続し、充電します。
(9) USB ポート	キーボード、マウス、USB ハードディスク ドライブなどの周辺機器に USB ケーブルを接続し、充電します。

シリアル番号と製品番号の位置

シリアル番号および製品番号は、製品によって、モニターの背面にあるラベルまたはモニター本体のフロントパネルの下側にあるラベルに記載されています。HP にお問い合わせになるときに、これらの番号が必要になる場合があります。



モニターの設置

このセクションでは、モニター スタンドまたはウォール マウントへの取り付け、および PC、ノートブック、ゲーム機、または類似のデバイスへのモニターの接続オプションについて説明します。

⚠ **警告！** 操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をするときの正しい姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電氣的/物理的安全基準についての情報も提供しています。このガイドは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/ergo/>（英語サイト）から[日本語]を選択することで表示できます。

📌 **重要：** モニターの損傷を防止するため、LCD パネルの表面には触れないでください。パネル面への圧力によって、液晶に色むらや歪みが発生する可能性があります。このような状態になった場合、画面を元に戻すことはできません。

📌 **重要：** 画面を傷つけたり、汚したりすることや、コントロール ボタンを損傷したりすることを防止するために、モニターの前面を下向きにして、保護用のシートまたは研磨剤が入っていない布を敷いた、安定した平らな場所に置きます。

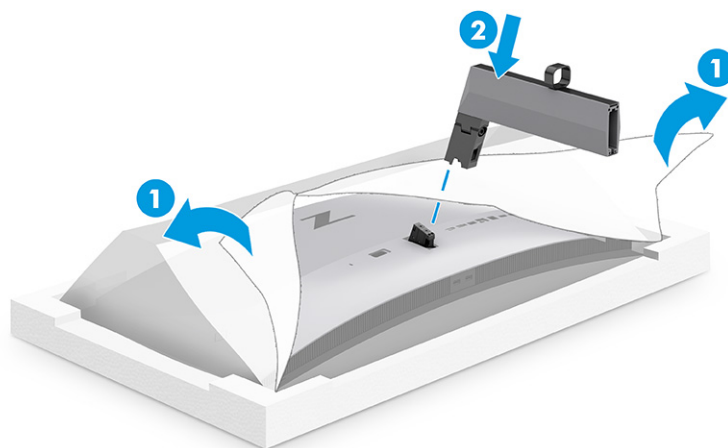
モニター スタンドの取り付け

安全に使用するためには、モニター スタンドを正しく取り付けることが非常に重要になります。このセクションでは、スタンドの安全な取り付け方法について説明します。

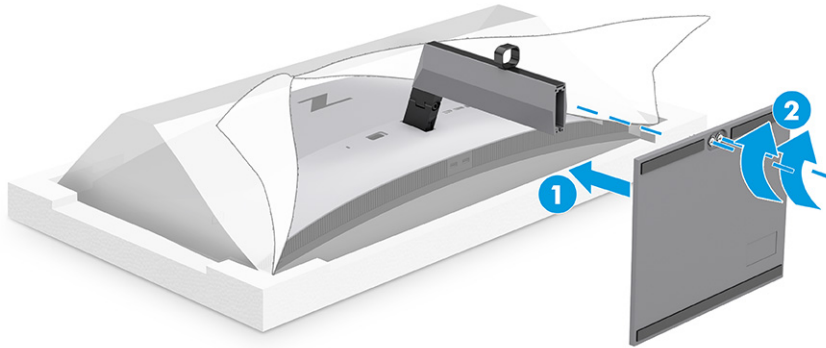
💡 **ヒント：** モニターを設置するときは、近くにある光源やその他の周辺光が反射するような向きにならないように配置してください。

📌 **注記：** モニター スタンドの取り付け手順は、他のモデルでは異なる場合があります。

1. 箱の中でモニターの前面が下向きになっている状態で、切り取り線に沿って梱包袋を開け (1)、スタンドのマウント プレート上部を、パネル背面にあるくぼみの上部の縁の下にスライドさせます (2)。



2. モニターの前面を下向きにして箱の中に置いたまま、台座を取り付け (1)、2本の固定用ネジを時計回りに回して台座を固定します (2)。



モニター本体の取り付け

スイングアームやその他の固定器具を使用して壁にモニターを取り付けるには、このセクションの手順に従って安全にしっかりとモニターを取り付けます。

重要：このモニターは、VESA 準拠の 100 mm 間隔の取り付け穴に対応しています。モニター本体に他社製の固定器具を取り付けるには、4 mm、0.7 ピッチ、長さ 10 mm のネジを 4 本使用してください。これより長いネジを使用すると、モニターが損傷する可能性があります。必ず、取り付ける固定器具が VESA 基準に準拠していることおよびモニターの質量を支えられる仕様になっていることを確認してください。最適な状態で使用するには、モニターに付属の電源コードおよびビデオケーブルを使用してください。

注記：この装置は、UL 準拠または CSA 準拠の壁へのマウントキットで支えられるように設計されています。

モニタースタンドの取り外し

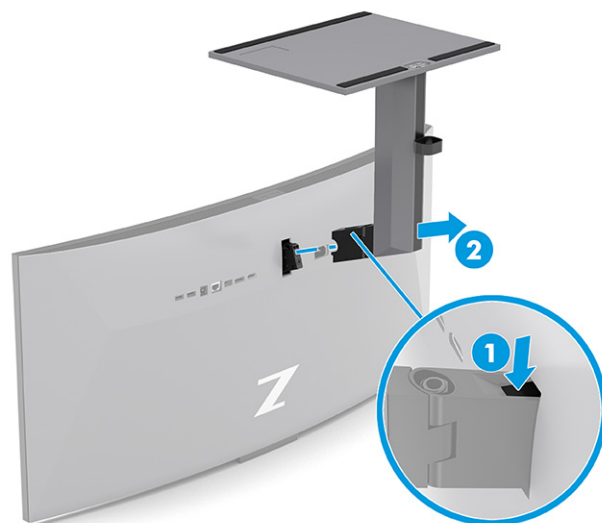
取り付けしたモニタースタンドの代わりにウォールマウントを使用することにした場合は、まずスタンドを取り外します。

重要：モニターを取り外す前に、モニターの電源が切られていること、およびすべてのケーブルを取り外してあることを確認してください。

重要：モニターを安全に動かすために、この手順は 2 人で実行することをおすすめします。

1. モニターからすべてのケーブルを取り外します。
2. モニターを逆さまにして、保護用のシートまたは清潔な乾いた布を敷いた、安定した平らな場所に置きます。
3. スタンドのマウントプレート下部の中央近くにあるラッチを押し上げます (1)。
4. スタンドの下部を上方向に回転させ、マウントプレートに隠れていたモニター本体のくぼみが完全に見えるようにします (2)。

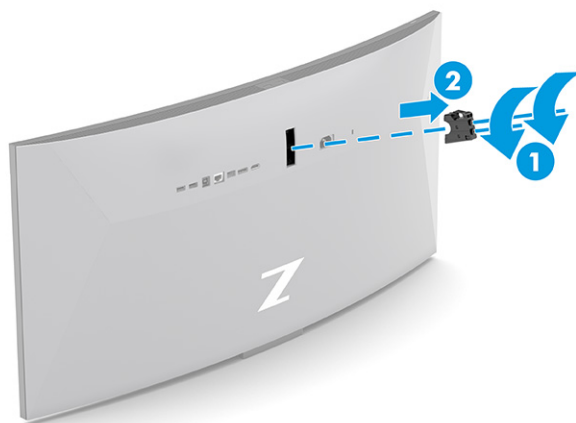
5. スタンドをスライドさせて、くぼみから取り外します。



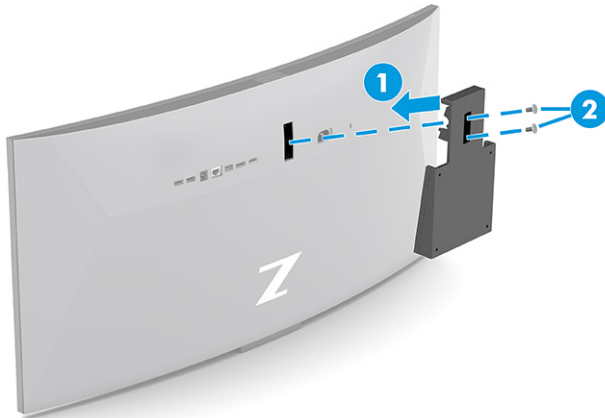
取り付け器具へのモニター本体の取り付け

取り付け器具を取り付けるときには、ドライバー（別売）などの追加工具が必要になる場合があります。モニターの損傷を防ぐため、以下の手順に従ってください。


1. モニター本体の背面にある VESA 準拠の取り付け穴から 2 本のネジを取り外し (1)、ネジ固定具を取り外します (2)。

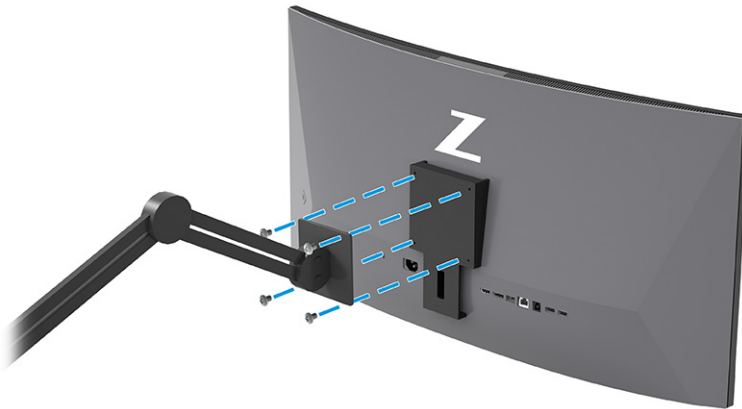


2. VESA アダプターをモニター本体の背面にあるネジ穴に合わせ (1)、2 本のネジを取り付けてアダプターを固定します (2)。




3. モニター本体をスイングアームまたはその他の取り付け器具に取り付けるには、4 本の取り付けネジを、取り付け器具にある穴に通してから、モニター本体の背面にある VESA 準拠のネジ穴に差し込みます。

 **重要：** これらの手順がお使いのデバイスに当てはまらない場合、モニターを壁面またはスイングアームに取り付けるときは、取り付け器具の製造元の説明書に沿って作業してください。




ケーブルの接続

このセクションでは、詳細なケーブルの接続方法に加えて、特定のケーブルの接続時にモニターがどのように機能するかについても説明します。

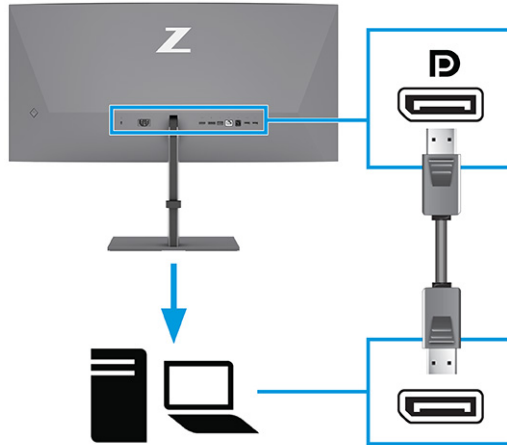
 **注記：** お使いのモニターのモデルによっては、VGA、USB Type-C、HDMI、または DisplayPort 入力がサポートされない場合があります。ビデオモードは、使用するビデオケーブルの種類によって決まります。入力システムから、有効なビデオ信号がモニター側で自動的に判別されます。オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューから入力を選択できます。モニターには一部のケーブルが付属しています。このセクションで示されているケーブルの中には、モニターに付属していないものもあります。


1. コンピューターの近くの作業がしやすく通気の良い場所にモニターを置きます。

2. ビデオケーブルを接続します。

 **注記：** USB Type-C 入力を除き、入力系統から、有効なビデオ信号がモニター側で自動的に判別されます。USB Type-C 入力は、手動で選択する必要があります。手動でビデオ入力信号（USB Type-C 入力など）を選択するには、OSD メニューを開き、**[入力]**を選択します。

- DisplayPort ケーブルの一方の端をモニターの背面の DisplayPort に接続し、もう一方の端を入力デバイスの DisplayPort に接続します。

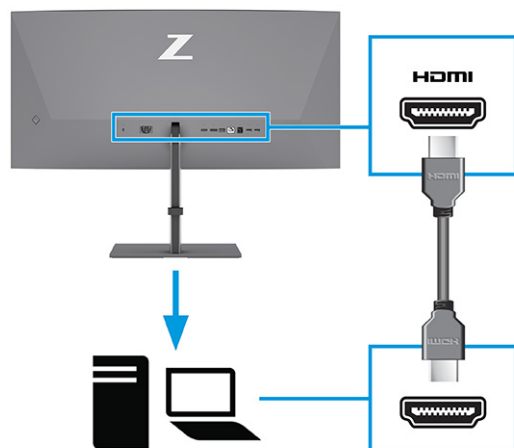


 **注記：** システムのスリープの終了後、または入力信号が失われた後に、DisplayPort ケーブルの接続に応じて、モニターと接続されているホストデバイス間で DisplayPort のビデオ入力接続が無効になります。システムがスリープ状態から復帰すると、モニターはビデオ入力信号を自動的にスキャンしてアクティブな入力に切り替えます。

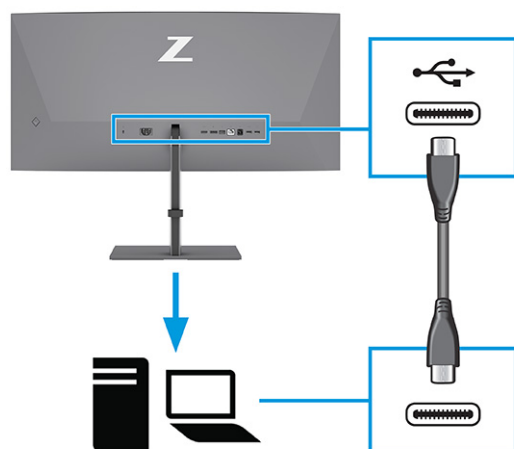
前回のビデオ入力接続が DisplayPort だった場合、モニターは自動的にスキャンして、USB Type-C ビデオ、DisplayPort、または HDMI ビデオ入力ソースに切り替えます。


正しい DisplayPort 入力には、OSD メニューを使用して接続しなおす必要があります。接続しなおすには、モニターの OSD コントロールを押して、**[メニュー]**→**[入力]**の順に選択し、DisplayPort 設定を選択します。

- HDMI ケーブルの一方の端をモニターの背面の HDMI 入力端子に接続し、もう一方の端を入力デバイスの HDMI 出力端子に接続します。



- USB Type-C ケーブルの一方の端をモニターの背面の USB Type-C ポートに接続し、もう一方の端を入力デバイスの USB Type-C ポートに接続します。（モニターに付属している HP 認定の USB Type-C ケーブルのみを使用してください。）

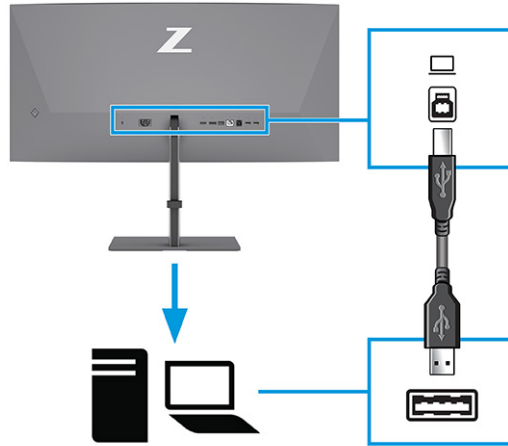



 **注記**：モニターの USB Type-C ポートは、ネットワーク接続、データ転送、ビデオ入力、および電源供給（最大 100 W）の各機能を提供します。

ホスト デバイスが、USB Type-C コネクタ経由で DisplayPort 代替モード（ビデオ入力、充電、および USB）に対応できる必要があります。ホスト デバイスには、Thunderbolt™対応 USB Type-C ポートとの互換性も必要です。


3. USB ケーブルを接続します。

- USB Type-B ケーブルの一方の端をモニターの USB Type-B ポートに接続し、もう一方の端を入力デバイスの USB Type-A ポートに接続します。



 **注記**：モニターの USB Type-A ポートを有効にするには、USB Type-A - USB Type-B ケーブルまたは USB Type-A - USB Type-C ケーブルを入力デバイス（コンピューター、ノートブックコンピューター、据え置き型ゲーム機）からモニターの背面に接続する必要があります。詳しくは、[14 ページの「USB デバイスの接続（一部の製品のみ）」](#)を参照してください。

4. 電源コードの一方の端をモニターの電源コネクタに接続して、もう一方の端をアース（接地）された電源コンセントに差し込みます。

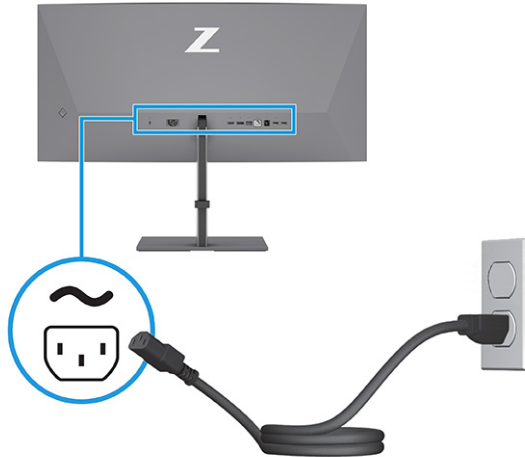
 **警告**！感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

必ず電源コードのアース端子を使用してアースしてください。アース端子は、製品を安全に使用するための重要な装置です。

電源コードは常に、装置の近くの手が届きやすい場所にあるアースされた電源コンセントに接続してください。

製品への電源供給を完全に遮断するには、電源コンセントから電源コードを抜いてください。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っ掛けたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っぱらないでください。電源コードを電源コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。



USB デバイスの接続（一部の製品のみ）

USB ポートには、デジタルカメラ、USB キーボードや USB マウスなどのデバイスを接続できます。モニターにはデバイス接続用の USB ポート（ダウンストリーム）があります（背面に 2 つの USB Type-A ポート、下側に 1 つの USB Type-B ポート、1 つの USB Type-C ポート、および 2 つの USB Type-A ポート）。

注記： USB Type-A ポートをマウス、キーボード、電話機、外付けハードディスクドライブなど、USB で接続するほとんどの機器に接続でき、許容電圧を 5 V とする USB ハブとして使用するには、USB Type-B ケーブルまたは USB Type-C ケーブルを入力デバイス（コンピューター）からモニターの背面に接続する必要があります。

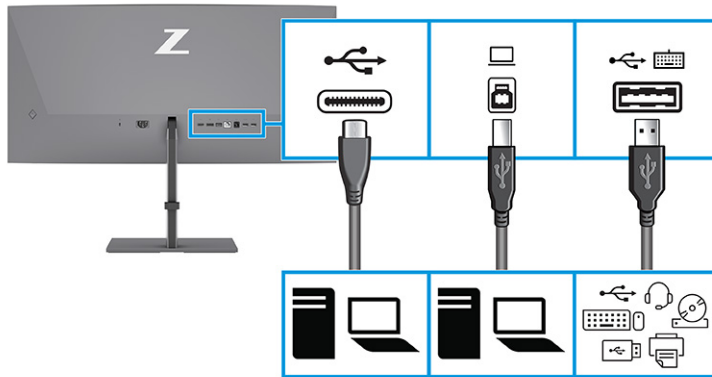


表 1-4 USB ポート

USB ポート
USB Type-B ポート
USB Type-C ポート
USB Type-A ポート（×3）
KVM オプション付き USB Type-A ポート（ 19 ページの「[KVM Mode]（KVM モード）での切り替え」 を参照）

モニターの調整（一部の製品のみ）

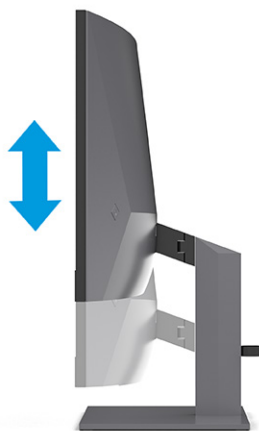
モニターには、人間工学的に適した作業スペースにするために、このセクションで説明されている調整オプションが用意されています。

- △ **警告！** 操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をするときの正しい姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しています。『快適に使用していただくために』では、重要な電氣的/物理的安全基準についての情報も提供しています。『快適に使用していただくために』は、Web サイト、<http://www.hp.com/ergo> から表示できます。

1. モニター本体を前または後ろに傾けて、見やすい位置に設定します。



2. モニターの高さを、作業環境に合った見やすい位置に調整します。モニターパネルの上端は、目の高さを超えないようにしてください。眼鏡やコンタクトレンズなどを使用している場合は、モニターの位置を低くし、傾ける方が作業しやすい場合があります。作業時の姿勢を調整した場合は、モニターの位置も調整しなおします。

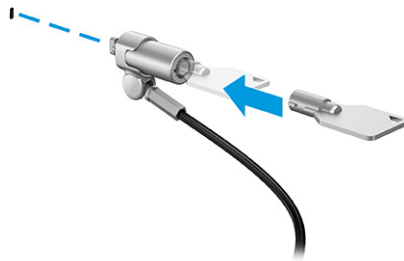


3. モニター本体を左または右に回転させて、最適な表示角度に設定します。






セキュリティ ロック ケーブルの取り付け

セキュリティ対策として、別売のセキュリティ ロック ケーブルを使用して、モニターを固定物に固定できます。ロックの取り付けおよび取り外しには、別売のセキュリティ ロック ケーブルに付属のキーを使用します。



モニターの電源投入

このセクションでは、モニターの損傷の予防方法と起動インジケータに関する重要な情報、およびトラブルシューティング情報について説明します。

-  **重要：**モニターの画面に 12 時間以上同じ静止画像を表示したままにしておくと、残像が表示されることがあります。残像が表示されないようにするには、常にスクリーンセーバーアプリケーションを有効に設定しておくか、長時間モニターを使用しないときはモニターの電源を切ります。残像はすべての LCD 画面で発生する可能性があります。モニター画面の「焼き付き」は、HP の保証の対象外です。
-  **注記：**電源ボタンを押しても電源が入らない場合は、電源ボタンのロックアウト機能が有効になっている可能性があります。この機能を無効にするには、モニターの電源ボタンを 10 秒程度押し続けます。
-  **注記：**一部の HP 製モニターでは、電源ランプはオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューで無効にできます。メニューボタンを押して OSD を開き、**[電源]→[電源ランプ]→[オフ]**の順に選択します。

- ▲ モニターの電源ボタンを押してモニターの電源を入れます。



初めてモニターの電源を入れると、モニター ステータスメッセージが5秒間表示されます。このメッセージには、現在アクティブなビデオ入力信号、ソース自動切り替え設定のステータス（オンまたはオフ、初期設定はオン）、現在のプリセットディスプレイ解像度、および推奨されるプリセットディスプレイ解像度が示されます。

モニターは入力信号をスキャンしてアクティブな入力を検出し、その入力を使用して画面を表示します。

しみおよび画像の焼き付きに関する HP のポリシー

一部のモニターは、超広視野角および高画質を実現する IPS (In-Plane Switching) ディスプレイ技術を使用して設計されています。多くのアプリケーションに適していますが、このパネル技術は、スクリーンセーバーを使用しない限り、静止画像、静止画像、または固定画像には適していません。

このような用途としては、たとえば、監視カメラ映像、ビデオゲーム、商品ロゴ、テンプレートの表示などがあります。静止画像は、汚れやしみのように見える画像の焼き付きをモニター画面上に発生させることがあります。

1日24時間使用しているモニターの画像の焼き付きはHPの保証の対象外です。画像の焼き付きが発生しないようにするには、モニターを使用しないときは常にモニターの電源を切断するか、電源管理設定を使用して、コンピューターがアイドル状態になるとモニターの電源が切断されるようにします（コンピューターでサポートされている場合）。

2 [KVM Mode] (KVM モード) を使用した 2 番目のコンピューターへの接続

モニターのオンスクリーンディスプレイ (OSD) の[KVM Mode] (KVM モード) オプションを使用すると、2 台のコンピューターを 1 台のモニターに接続し、モニターからどちらのコンピューターにも簡単にアクセスできるようになります。

2 番目のコンピューターからのビデオ入力には、DisplayPort ケーブルまたは HDMI ケーブルを、モニターの背面にある適切なコネクタに接続します。たとえば、DisplayPort ケーブルの一方の端をモニターの背面の DisplayPort コネクタに接続し、もう一方の端を 2 番目のコンピューターの DisplayPort コネクタに接続します。2 番目のコンピューターに HDMI ポートしかない場合は、HDMI ケーブルの一方の端をモニターの背面の HDMI ポートに接続し、もう一方の端を 2 番目のコンピューターの HDMI ポートに接続します。

2 番目のコンピューターへの USB 接続には、USB Type-B - Type-A ケーブルまたは USB Type-C - Type-A ケーブルをモニターの 2 番目の USB Type-B ポートに接続できます。

[KVM Mode] (KVM モード) オプションで USB Type-C 入力に接続されている場合は、コンピューターの状態にかかわらず、モニターが自動的に USB Type-C 入力に切り替わります。USB Type-C 入力への接続がなく、2 番目のコンピューターがオンの場合、モニターは自動的にアクティブな入力 (DisplayPort または HDMI) に切り替わります。

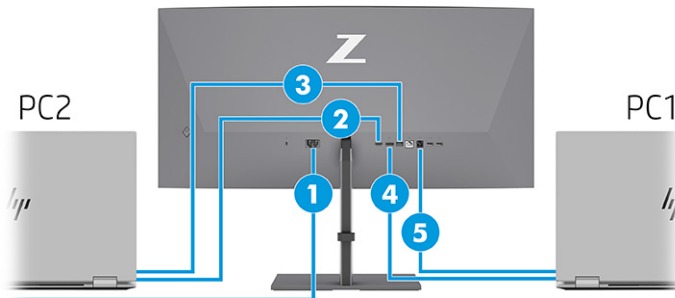


表 2-1 2 番目のコンピューターの接続

番号		説明
(1)	電源コネクタ	モニターを電源コンセントに接続します。
(2)	HDMI ポート	2 番目のコンピューター (PC #2) が有効になっている場合、モニターはアクティブな入力 (HDMI または DisplayPort) に切り替わります。
(3)	USB Type-C ポート	多機能サポートには、充電、USB、およびディスプレイ機能が含まれます。
(4)	DisplayPort	
(5)	USB Type-B ポート	USB ポートは最初の PC (PC #1) に接続します。80.0 cm (31.5 インチ) までの長いケーブルが必要です。

[KVM Mode] (KVM モード) での切り替え

2 台のコンピューターを 1 台のモニターに接続し、[KVM Mode] (KVM モード) オプションを選択した状態では、キーボードの左の **Ctrl** キーを 2 回押すと、コンピューターを切り替えることができます。

 **注記**：キーボードは、モニターの背面にある KVM 接続用の USB Type-A ポートに接続する必要があります。

[KVM Mode] (KVM モード) 接続の優先度

このセクションでは、[KVM Mode] (KVM モード) 接続の優先度について説明します。

[KVM Mode] (KVM モード) 接続には、3 種類があります。

- USB Type-C は、USB Type-C ケーブルのみを使用します。
- USB Type-B は、USB Type-B ケーブルのみを使用します。
- バインドモードは、USB ホストの自動切り替えが無効になっている場合でも、現在のビデオ入力ポートを使用します。最初のコンピューターの電源が切断されている場合は、[KVM Mode] (KVM モード) の設定によって、電源が入っている 2 番目のコンピューターに切り替わります。

USB ホストの自動切り替えが無効になっている場合でも、KVM 機能は現在のビデオ入力ポートを使用します。最初のコンピューターの電源が切断されている場合は、[KVM Mode] (KVM モード) の設定によって、電源が入っている 2 番目のコンピューターに切り替わります。

PxP モードでは、KVM 機能によりメインの入力と 2 番目の入力を使用できます。オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューで PxP モードを有効にすると、各入力を選択できます。KVM 機能の初期設定では、メインの入力に設定されます。これは、バインドセットでの設定と同じです。DisplayPort または HDMI ポートには USB Type-B バインドセットを選択し、他のビデオポートには USB Type-C バインドセットを選択することができます。

両方のコンピューターの電源がオンになっていて、接続されている場合は、メインの入力に接続されているコンピューターが PxP モードの他のコンピューターよりも優先されます。メインの入力の接続がなく、他の入力ポートがアクティブになっている場合は、モニターがアクティブな入力に切り替わり、2 番目のバインドセットが USB 入力になります。

コンピューターの USB Type-C の接続をモニターから長時間にわたって切り離している場合は、モニターの切り替えをより速く行うために、OSD で入力信号がない場合の警告メッセージのチェックを外すことができます。

モニターの OSD で入力信号がない場合の警告メッセージのチェックを外すには、以下の操作を行います。

1. **[メニュー]** ボタンを押して OSD を開きます。
2. OSD で、**[OSD Messages]** (OSD メッセージ) を選択し、**[No Input Signal Warning]** (入力信号なし警告) のチェックを外します。

3 モニターの使用

この章では、ソフトウェアとユーティリティ、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニュー、機能ボタン、電源モード、および[Windows Hello]を含むモニターとその機能の使用方法について説明します。

ソフトウェアおよびユーティリティのダウンロード

これらのファイルは、HP のサポート窓口からダウンロードしてインストールできます。

- INF（情報）ファイル
- ICM（Image Color Matching）ファイル

ファイルをダウンロードするには、以下の操作を行います。

1. HP のサポート Web サイト、<http://www.hp.com/support> にアクセスします。
2. [ソフトウェアとドライバー]を選択します。
3. 製品の種類を選択します。
4. お使いの HP モニターのモデルを検索フィールドに入力し、画面の説明に沿って操作します。

情報ファイル

INF ファイルは、モニターとお使いのコンピューターのグラフィックスアダプターとの互換性を確保するために、Windows®オペレーティングシステムが使用するモニター リソースを定義します。

このモニターはプラグアンドプレイ機能に対応しており、INF ファイルをインストールしなくても正常に動作します。モニターのプラグアンドプレイ機能を利用するには、コンピューターのグラフィックスカードが VESA DDC2 に準拠しており、モニターが直接グラフィックスカードに接続されている必要があります。BNC 分岐コネクタまたは分配バッファや分配ボックス（またはその両方）を通して接続されている場合、プラグアンドプレイ機能は利用できません。

Image Color Matching ファイル

ICM ファイルはグラフィックスプログラムとともに使用されるデータファイルで、モニターとプリンター間またはスキャナーとモニター間の色調を調整します。これらのファイルは、この機能をサポートするグラフィックスプログラムの実行時に有効になります。

 **注記**：ICM のカラー プロファイルは、ICC（International Color Consortium）のプロファイル形式の仕様に基いて記述されています。

オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューの使用

HP のモニターは望みどおりに調整することができます。OSD メニューを使用すると、モニターの表示機能をカスタマイズできます。

OSD メニューにアクセスして調整するには、以下の操作を行います。

1. モニターの電源が入っていない場合は、電源ボタンを押してモニターの電源を入れます。
2. OSD コントローラーの中心を押します。
3. コントローラーを上下左右に動かすと、メニュー項目間を移動できます。コントローラーの中心を押すと、選択できます。


以下の表に、OSD メインメニューの考えられるメニュー項目を示します。ここには、各設定の説明とモニターの外観またはパフォーマンスへの影響を記載しています。

表 3-1 ボタンおよびコントローラーを使用するための OSD メニュー オプションおよび説明（一部の製品のみ）

メインメニュー	説明
輝度	画面の輝度を調整します。工場出荷時の初期設定は 90 です。
色	さまざまな表示状況に応じてモニターを設定する各種のカラープリセットを提供します。
画像	明るさ、コントラスト、ダイナミックコントラスト、ガンマ、シャープネス、イメージのスケールリングなどの画面表示を調整します。
電源	電源設定を調整します。
コントラスト	画面のコントラストレベルを調整します。工場出荷時の初期設定は 80 です。
入力	ビデオ入力信号（DisplayPort または HDMI）を選択します。
オーディオ	画面の音量を調整します。工場出荷時の初期設定は 30 です。
メニュー	OSD メニューおよび機能ボタンのコントロールを調整します。
管理	すべての OSD メニュー設定を工場出荷時の初期設定に戻します。
USB ホストの選択	USB ホスト（ボタンのみ）を選択します。
情報	最適なディスプレイモード、電源モード、シリアル番号などのモニターに関する情報を表示します。
終了	OSD メニュー画面を終了します。

オンスクリーンディスプレイ（OSD）の機能ボタンの使用

機能ボタンにより操作が便利になります。これらのボタンは 1 つを除いてカスタマイズすることができ、さらに利便性を高めることができます。

 **注記：**機能ボタンの操作は、モニターのモデルによって異なります。

ボタンの機能の変更については、[22 ページの「機能ボタンの再割り当て」](#)を参照してください。

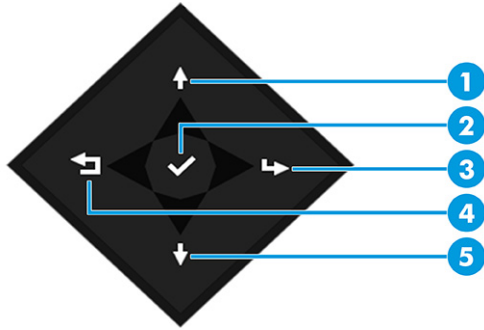


表 3-2 ボタン名および説明

ボタン	説明
(1) 上ボタン 割り当て可能な機能ボタン	このボタンを押すと、OSD の項目が 1 つ上に移動します。
(2) 入るおよび選択/OK ボタン	このボタンを押すと、ハイライトされた項目の OSD メニューが開きます。
(3) 進むボタン 割り当て可能な機能ボタン	このボタンを押すと、OSD の次のメニュー レベルに進みます。
(4) 戻るボタン 割り当て可能な機能ボタン	このボタンを押すと、OSD の前のメニュー レベルに戻ります。
(5) 下ボタン 割り当て可能な機能ボタン	このボタンを押すと、OSD の項目が 1 つ下に移動します。

機能ボタンの再割り当て

[メニュー]ボタンを除いて、機能ボタンに割り当てられた操作を初期設定の操作から変更して、頻繁に使用するメニュー項目にすばやくアクセスできるようにすることができます。

機能ボタンを割り当てなおすには、以下の操作を行います。

1. メニューボタンを押して、オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューを開きます。
2. [メニュー]→[ボタンの割り当て]の順に選択し、割り当てるボタンで使用可能なオプションをどれか選択します。


ディスプレイ モードの状態

モニターの電源を入れると、ステータス メッセージにディスプレイ モードが表示されます。また、ビデオ入力を変更したときもディスプレイ モードが表示されます。

現在のディスプレイ モードは、[情報]メニュー ウィンドウ、およびオンスクリーン ディスプレイ (OSD) メインメニューの下のステータスバー領域に表示されます。動作モードはモデルによって異なります。最も一般的なモードは、[標準]および[Adaptive-Sync]です。

[Adaptive-Sync]モードをオンにするには、以下の操作を行います。

1. OSD コントローラーの中心を押して OSD を開きます。
2. OSD で、**[ゲーム]**を選択します。
3. **[Adaptive-Sync]**→**[オン]**の順に選択します。


 **注記**：[Adaptive-Sync]メニューの初期設定は**[オン]**です。

電源モード設定の変更（一部の製品のみ）

このセクションでは、パフォーマンスモードを有効にする方法について説明します。モニターの特定の機能を使用するには、パフォーマンスモードを有効にすることが必要になる場合があります。

国際的な電源に関する規格に適合させるため、スリープモードでのモニターの初期設定は省電力モードとなっています。

お使いのモニターがパフォーマンスモードに対応している場合、モニターが自動スリープモードのときに USB ポートを有効なままにしておくには、電源モード設定を**[省電力]**から**[パフォーマンス]**に変更します。

 **注記**：接続しているコンピューターがバッテリー電源で駆動していない場合は、**[電源モード]**設定を**[パフォーマンス]**モードに変更する必要があります。

電源モード設定を変更するには、以下の操作を行います。

1. OSD コントローラーの中心を押します。
2. **[電源]**→**[電源モード]**→**[パフォーマンス]**の順に選択します。
3. **[戻る]**を選択し、OSD を閉じます。

自動スリープモードの使用（一部の製品のみ）

お使いのモニターには、自動スリープモードという省電力機能が搭載されています。このセクションでは、モニターの自動スリープモードを有効化または調整する方法について説明します。

自動スリープモードが有効になっている場合（初期設定では有効）、コンピューターから低電力モードの信号（水平同期信号と垂直同期信号のどちらかが検出されない状態）を受け取ると、モニターは省電力状態になります。

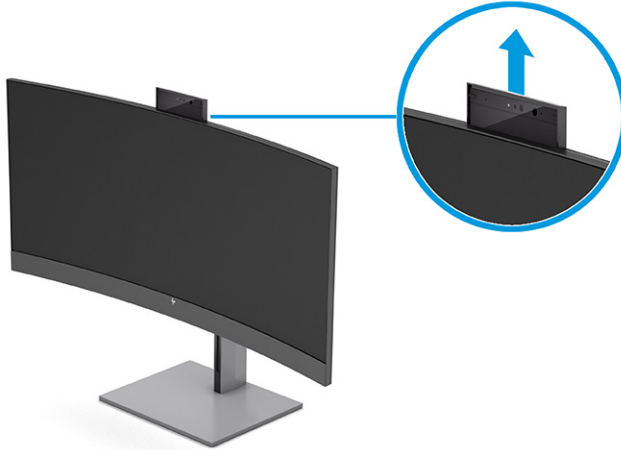
省電力状態（自動スリープモード）になると、モニターの画面には何も表示されず、バックライトはオフになり、電源ランプはオレンジ色に点灯します。この状態のモニターの消費電力は 0.5W 未満です。コンピューターからアクティブな信号を受け取ると（ユーザーがマウスやキーボードを操作した場合など）、モニターは自動スリープモードから復帰します。

オンスクリーンディスプレイ（OSD）で自動スリープモードを無効にするには、以下の操作を行います。


1. OSD コントローラーの中心を押して OSD を開きます。
2. OSD で、**[電源]**を選択します。
3. **[自動スリープモード]**→**[オフ]**の順に選択します。

カメラの使用

カメラのロックを解除するには、カチッと音がするまでカメラを軽く押し込みます。カメラが一番上まで上昇します。

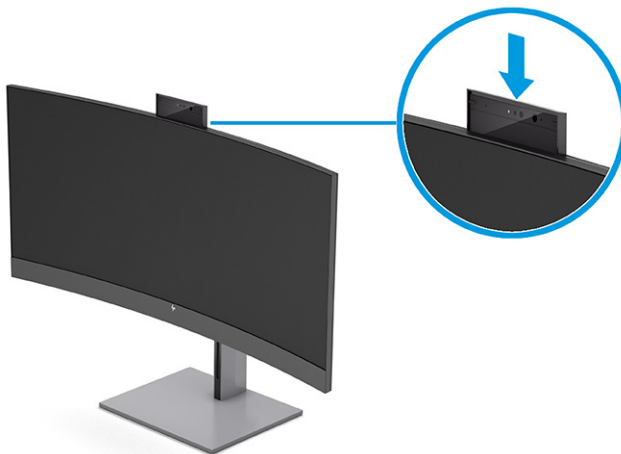


[Windows Hello]の顔認識を使用してログインしたり、会話のセキュリティを維持したり、ビデオ会議を行うときに、モニターのカメラを使用できます。

 **注記:** ビデオ会議には、コンピューターをモニターに接続します。ビデオ会議インターフェイスから【HP Display Camera】(HP ディスプレイカメラ)を選択します。


カメラを閉じると、マイクの電源がオフになります。

カメラを使用していないときは、カチッと音がして閉じた位置に収まるまでカメラを押し下げます。



[Windows Hello]の顔認識の設定

一部の製品では、[Windows Hello]の顔認識を使用すると、すばやく安全にコンピューターにアクセスできます。コンピューターのカメラまたはモニターのカメラのどちらかを使用して顔認識を行うことができます。

 **注記**：[Windows Hello]は、Windows 10 オペレーティングシステムでのみサポートされています。

コンピューターのカメラでの[Windows Hello]の使用

デバイスの[Windows Hello]対応カメラで[Windows Hello]の顔認識を設定するには、次の手順に従います。

1. <http://support.hp.com/us-en/drivers/products> から HP Windows Hello ソフトウェア ドライバーをダウンロードします。
2. モニターをコンピューターに接続し、コンピューターとモニターの電源を入れます。
3. Windows デスクトップを右クリックして、**[ディスプレイ設定]**を選択します。
4. モニターを選択し、**[複数のディスプレイ]**セクションを選択します。
5. ドロップダウンメニューで、**[デスクトップをこのディスプレイに拡張する]**を選択します。
6. **[これをメインディスプレイにする]**チェックボックスにチェックを入れます。
7. **[スタート]ボタン**→**[設定]**→**[アカウント]**→**[サインインオプション]**の順に選択します。
8. **[Windows Hello]**で、**[顔認識]**の下にある**[セットアップ]**を選択します。
9. **[Windows Hello による]**の下で**[開始する]**を選択し、画面の説明に沿って顔の ID を登録して、PIN（個人識別番号）を設定します。

[Windows Hello]を使用している場合、モニターの赤外線（IR）カメラを使用してログインできるようになります。

モニターのカメラで[Windows Hello]を使用する

コンピューターに[Windows Hello]カメラがない場合でも、モニターの IR カメラを使用して[Windows Hello]の顔認識を設定できます。

1. **[スタート]ボタン**→**[設定]**→**[アカウント]**→**[サインインオプション]**の順に選択します。
2. **[Windows Hello]**で、**[顔認識]**の下にある**[セットアップ]**を選択します。
3. **[Windows Hello による]**の下で、**[開始する]**を選択し、画面の説明に沿って顔の ID を登録して、PIN を設定します。

[Windows Hello]を使用している場合、モニターの IR カメラを使用してログインできるようになります。

PiP と PbP の使用（一部の製品のみ）

このモニターは、1つのソースをもう1つのソースに重ねて表示する PiP（Picture in Picture）と、1つのソースともう1つのソースを水平（横向きの場合）または垂直（縦向きの場合）に並べて表示する PbP（Picture by Picture）の両方をサポートしています。PiP モードでは、2つの FHD（Full HD）画像を表示できます。

PIP または PbP を使用するには、以下の操作を行います。

1. 2 番目の入力デバイスをモニターに接続します。
2. OSD コントローラーの中心を押して OSD を開きます。
3. OSD メニューで、**[画像]**→**[PIP コントロール]**→**[PIP を有効にする]**の順に選択します。

モニターは 2 番目の入力をスキャンして有効な信号入力を検出し、その入力を使用して PIP または PbP 画像を表示します。

4. PIP または PbP 入力を変更する場合は、OSD メニューで**[画像]**→**[PIP コントロール]**→**[入力の割り当て]**の順に選択します。
5. PIP のサイズを変更する場合は、OSD メニューで**[PIP のサイズ]**を選択し、必要なサイズを選択します。
6. PIP の位置を調整する場合は、OSD メニューで**[PIP の位置]**を選択し、必要な位置を選択します。

ブルーライトの発光の調整（一部の製品のみ）

モニターのブルーライトの発光を減らすと、ブルーライトによる目の疲労が軽減されます。このモニターでは、ブルーライトの発光を減らして、画面上でコンテンツを読むときの刺激を低減する設定を選択できます。

モニターからのブルーライトの発光を調整するには、以下の操作を行います。

1. オンスクリーンディスプレイ (OSD) ボタンのどれかを押してボタンを有効にしてから、**メニュー** ボタンを押して OSD を開きます。**[色]**を選択します。

コントローラーを使用している場合は、OSD コントローラーの中心を押して OSD を開きます。

2. 設定オプションで**[低ブルーライト]**を選択します。
 - **[低ブルーライト]**: (TÜV 認証済み) ブルーライトを少なくして目の快適性を高めます。
 - **[読書]**: ブルーライトおよび輝度を室内表示用に最適化します。
 - **[夜間]**: ブルーライトの発光が最も少なくなるように調整して、睡眠への影響を軽減します。
3. **[保存して戻る]**を選択して設定を保存し、メニューを閉じます。設定を保存しない場合は、**[キャンセル]**を選択します。
4. メインメニューから、**[終了]**を選択します。

低ブルーライトモードの使用（一部の製品のみ）

モニターのブルーライトの発光を減らすと、ブルーライトによる目の疲労が軽減されます。このモニターの初期設定モードでは低ブルーライトパネルを使用します。

このモニターの初期設定モードは TÜV 認証を受けた低ブルーライトパネルで、ブルーライトの発光を減らして、画面上でコンテンツを読むときの刺激を低減します。

4 サポートおよびトラブルシューティング

モニターが正常に動作しない場合、このセクションの手順に従うことで、問題を解決できる可能性があります。

一般的なトラブルの解決方法

以下の表に、発生する可能性のあるトラブル、考えられる原因、および推奨する解決方法を示します。

表 4-1 一般的なトラブルおよび解決方法

問題	考えられる原因	解決方法
画面に何も表示されないか、画像が点滅する。	電源コードが外れている。	電源コードを接続します。
	モニターの電源が切れている。	モニターの電源ボタンを押します。 注記： 電源ボタンを押しても電源が入らない場合は、電源ボタンを 10 秒程度押し続けて、電源ボタンのロックアウト機能を無効にします。
	主電源スイッチがオフに設定されている。	モニターの背面にある主電源スイッチをオンの位置に設定します。
	ビデオケーブルが正しく接続されていない。	ビデオケーブルを正しく接続します。詳しくは、 10 ページの「ケーブルの接続」 を参照してください。
	システムが自動スリープモードになっている。	キーボードの任意のキーを押すかマウスを動かして、画面表示を消すユーティリティを無効にします。
ビデオカードに互換性がない。	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを開いて、 [入力] メニューを選択します。 [自動切替入力] を [オフ] に設定し、手動で入力を選択します。 または ビデオカードを交換するか、コンピューターに搭載されているビデオソースのどれかにビデオケーブルを接続します。	
画像がぼやけている、不鮮明、または暗すぎる。	輝度設定が低すぎる。 OSD メニューを開いて [輝度] を選択し、必要に応じて輝度スケールを調整します。	
[Check Video Cable] (ビデオケーブルを確認してください) というメッセージが画面に表示される。	モニターのビデオケーブルが外れている。 適切なビデオ信号ケーブルで、コンピューターとモニターを接続します。ビデオケーブルを接続するときにコンピューターの電源がオフになっていることを確認してください。	
[Input Signal Out of Range] (入力信号が範囲外) というメッセージが画面に表示される。	ビデオ解像度やリフレッシュレートが、モニターがサポートするレベルを超えるレベルに設定されている。 サポートされている値に設定値を変更します。	
モニターが省電力スリープ状態にならない。	モニターの省電力機能が無効になっている。 OSD メニューを開き、 [電源] → [自動スリープモード] の順に選択して、自動スリープを [オン] に設定します。	
[OSD Lockout] (OSD ロックアウト) というメッセージが画面に表示される。	モニターの OSD ロックアウト機能が有効になっている。 OSD コントローラーの中心を 10 秒程度押し続けて、OSD のロックアウト機能を無効にします。	

表 4-1 一般的なトラブルおよび解決方法 (続き)

問題	考えられる原因	解決方法
[Power Button Lockout](電源ボタンのロックアウト) というメッセージが画面に表示される。	モニターの電源ボタンのロックアウト機能が有効になっている。	電源ボタンを 10 秒間押し続けて、電源ボタンのロックを解除します。

ボタンのロックアウト

ボタンのロックアウト機能は、モニターの電源が入っていて、アクティブな信号が表示されており、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューが閉じている場合にのみ使用できます。OSD コントローラーの中心を 10 秒間押し続けると、そのボタンが無効になります。ボタンを再度有効にするには、もう一度 10 秒間押し続けます。

自動調整機能の使用 (アナログ入力)

以下のような場合に、自動調整機能によって画面の最適化が自動的に行われます。

- モニターの設定
- コンピューターの工場出荷時設定の復元
- モニターの解像度の変更

オンスクリーンディスプレイ (OSD) の [Auto Adjustment] (自動調整) メニューから、VGA (アナログ) 入力の画面の画質をいつでも手動で最適化できます。 <http://www.hp.com/support> から自動調整用パターンソフトウェアユーティリティをダウンロードできます。

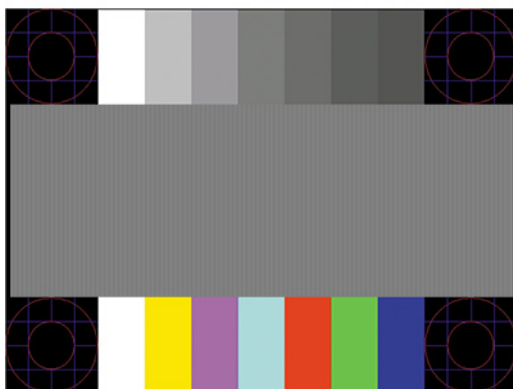
お使いのモニターが VGA 入力に未対応の場合は、この操作を行わないでください。お使いのモニターが VGA (アナログ) 入力対応の場合は、この手順を行うことで以下の画質状況が修正されます。

- ぼやけて不明瞭な焦点
- ゴースト、線、および影の表示
- 薄い縦線
- 画面上を上下に移動する横線
- 中心がずれて表示される画像

自動調整機能を使用するには、以下の操作を行います。

1. モニターの電源を入れてから、調整するまで 20 分間待ちます。
2. **メニュー** ボタンを押して OSD メニューを開き、**[イメージ]**→**[Auto Adjustment]**の順に選択します。期待する結果が得られない場合は、引き続き以下の操作を行います。

3. 自動調整ユーティリティを開きます。(このユーティリティは、<http://www.hp.com/support> からダウンロードできます。) セットアップのためのテストパターンが表示されます。




4. `esc` キーまたはキーボードの任意のキーを押して、テストパターンを終了します。

画質の最適化（アナログ入力）

このセクションでは、設定をカスタマイズしたい場合に、モニターの画像を手動で最適化する方法について説明します。

オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューの[Clock]（クロック）および[Phase]（フェーズ）を調節して、画質を向上させることができます。自動調整機能を使用しても期待する画質が得られない場合にのみこれらの機能を使用してください。

-  **注記：** [Clock]および[Phase]コントロールは、アナログ（VGA）入力を使用する場合にのみ調節可能です。デジタル入力ではこれらの機能は調整できません。

[Phase]の設定は[Clock]の設定に影響されますので、最初に[Clock]を正しく設定しておく必要があります。

- **Clock：** 画面に表示される縦線や縞模様を最小限に抑えます。
- **Phase：** 画像のちらつきやかすみを最小限に抑えます。

-  **注記：** これらの調整を行う場合は、自動調整用のソフトウェアユーティリティを使用すると最適な結果が得られます。このユーティリティは、<http://www.hp.com/support> からダウンロードできます。

[Clock]および[Phase]の設定値を調整しているときにモニターの画像が歪む場合は、歪みがなくなるまで調整を続けます。工場出荷時の設定に戻すには、**メニュー** ボタンを押して OSD メニューを開き、**[Management]**（管理）→**[Factory Reset]**（工場出荷時設定の復元）→**[Yes]**（はい）の順に選択します。

縦線を除去するには、以下の操作を行います（クロック）。

1. **メニュー** ボタンを押して OSD メニューを開き、**[イメージ]**→**[Clock and Phase]**（クロックおよびフェーズ）の順に選択します。
2. **[Clock]**を選択し、上向き矢印および下向き矢印のアイコンが表示されているモニターの OSD ボタンを使用して、縦線を除去します。最適に調整されるポイントが過ぎてしまわないように、ボタンをゆっくりと押します。



3. クロックを調整しても画面にちらつき、かすみ、線などが表示される場合は、続いてフェーズを調整します。

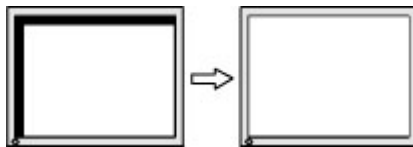
ちらつきやかすみを除去するには、以下の操作を行います（フェーズ）。

1. **メニュー** ボタンを押して OSD メニューを開き、**[イメージ]**→**[Clock and Phase]**（クロックおよびフェーズ）の順に選択します。
2. **[Phase]**を選択し、上向き矢印および下向き矢印のアイコンが表示されているモニターの OSD ボタンを使用して、ちらつきやかすみを除去します。コンピューターまたは取り付けられているグラフィックスコントローラーカードによっては、ちらつきやかすみが除去されないことがあります。



画面の位置を調整するには、以下の操作を行います（水平表示位置または垂直表示位置）。

1. **メニュー** ボタンを押して OSD メニューを開き、**[イメージ]**→**[Image Position]**（画面の位置）の順に選択します。
2. 上向き矢印および下向き矢印のアイコンが表示されているモニターの OSD ボタンを押して、モニターの表示領域内で画像が適切な位置に表示されるように調節します。**[Horizontal Position]**（水平表示位置）では画像を左右に移動し、**[Vertical Position]**（垂直表示位置）では画像を上下に移動します。




5 モニターの保守

モニターを正しくメンテナンスすることで、何年にもわたって使用することができます。ここでは、モニターを最適な状態に保つために実施できる手順について説明します。

保守に関するガイドライン

モニターの性能を向上させ長く使用するために、以下のガイドラインを参考にしてください。

- モニターのキャビネットを開けたり自分で修理したりしないでください。このガイドに記載されている調整機能のみを使用してください。正常に動作しない場合や、モニターを落としたり破損したりした場合には、HP のサポート窓口にお問い合わせください。
- 外部電源は、モニター背面のラベルまたは銘板に記載された条件に適合するもののみを使用してください。
- 電源コンセントに接続する機器の定格電流の合計が電源コンセントの許容電流を、またコードに接続する機器の定格電流の合計がコードの許容電流を超えないようにしてください。各機器の定格電流（AMPS または A）は本体に貼付された電源のラベルに記載されています。
- モニターは、手が届きやすい場所にあるコンセントの近くに設置します。電源コードをコンセントから外すときは、必ずプラグをしっかりと持って抜きます。コードを引っばって抜かないでください。
- 使用していないときにはモニターの電源を切るようにして、スクリーンセーバー プログラムを使用してください。これにより、モニターの寿命が大幅に伸びる場合があります。

 **注記：** モニター画面の「焼き付き」は、HP の保証の対象外です。


- キャビネットのスロットや開口部をふさいだり、その中に異物を押し込んだりしないでください。これらの開口部によって通気が確保されます。
- モニターを落としたり、不安定な台の上に置いたりしないでください。
- 電源コードの上に物を置いたり、電源コードを足で踏んだりしないでください。
- モニターは通気のよい場所に設置し、過度の光熱や湿気にさらさないようにします。


モニターの清掃

必要に応じて、以下の操作を行ってモニターを清掃してください。

1. モニターの電源を切り、電源コンセントから電源コードを抜き取ります。
2. すべての外付けデバイスを取り外します。
3. 清潔で柔らかい、静電気防止加工のされた布で画面およびキャビネットを拭いて、モニターからほこりを取り除きます。

4. 汚れが落ちにくい場合は、水とイソプロピルアルコールを 50 : 50 の割合で混合した溶液を使用します。

 **重要**：ベンゼン、シンナー、およびその他の揮発性の溶剤など、石油系の物質を含むクリーナーをモニター画面やキャビネットの清掃に使用しないでください。これらの化学物質を使用すると、モニターが損傷するおそれがあります。

 **重要**：布にクリーナーをスプレーし、湿らせた布を使用して画面をそっと拭きます。決して、クリーナーを画面に直接吹きかけないでください。クリーナーがベゼル裏側に入ってしまう、電子部品が損傷するおそれがあります。布はあまり濡らさず、軽く湿らせた状態で使用してください。通気孔またはその他の開口部に水が入ると、モニターの損傷の原因になる可能性があります。モニターは、使用する前に自然乾燥させます。

5. 汚れやごみを取り除いた後、消毒液で表面を清掃することもできます。世界保健機関（WHO）では、ウイルス性呼吸器疾患および有害な細菌の蔓延を防止するための最良の方法として、表面の清掃の後に消毒を行うことを推奨しています。HP のクリーニングガイドラインで取り上げられている消毒薬は、イソプロピルアルコール 70%、水 30% のアルコール溶液です。この溶液は、消毒用アルコールとも呼ばれ、ほとんどの店舗で販売されています。イソプロピルアルコールは保管および使用上の注意を守ってお使いください。


モニターの運搬

モニター出荷時の梱包箱および緩衝材を保管場所で保管してください。またはそれらと同等の部材を使用してしっかり梱包してください。

A 技術仕様

このセクションでは、重量や表示サイズなど、モニターの物理側面の技術仕様に加えて、必要な動作環境条件と電源の範囲について説明します。

以下の仕様はすべて、HP 製品の各コンポーネントの製造元から提供された標準的な仕様を表していません。このため、実際の動作時の数値とは異なる場合があります。

 **注記：** この製品の最新の仕様またはその他の仕様について詳しくは、<http://www.hp.com/go/quickspecs/>（英語サイト）にアクセスして、該当するモニター モデルを検索し、モデル別の情報を参照してください。

34 インチ（対角長 86.4 cm）モデルの仕様

このセクションでは、モニターの仕様について説明します。

表 A-1 技術仕様

仕様	測定値	
ディスプレイ、ワイドスクリーン	86.4 cm	34 インチ
種類	IPS	
表示画像サイズ	86.4 cm（対角方向）	34 インチ（対角方向）
最大質量（非梱包時）	11.4 kg	25.1 ポンド
寸法（台座を含む）		
高さ（最も高い位置のとき）	58.52 cm	23.04 インチ
高さ（最も低い位置のとき）	43.52 cm	17.13 インチ
奥行き	27.25 cm	10.73 インチ
幅	81.38 cm	32.04 インチ
傾斜角度	-5 ~ +10 度	
環境条件 動作保証温度		
動作温度	5 ~ 35°C	41 ~ 95°F
保管温度	-10 ~ 60°C	-14 ~ 140°F
保管湿度	5 ~ 95%（結露なし）	
電源	100 ~ 240 V AC、50/60 Hz	
入力端子	HDMI 入力端子×1、DisplayPort×1、USB Type-C DisplayPort×1	

プリセット ディスプレイ解像度

以下のディスプレイ解像度はこのモニターで使用される最も標準的なもので、初期設定として設定されています。モニターによってこれらのプリセットモードが自動的に認識され、正しいサイズの画像が画面の中央に表示されます。

プリセット ディスプレイ解像度

以下のディスプレイ解像度はこのモニターで使用される最も標準的なもので、初期設定として設定されています。モニターによってこれらのプリセットモードが自動的に認識され、正しいサイズの画像が画面の中央に表示されます。

表 A-2 プリセット ディスプレイ解像度

プリセット	ピクセルフォーマット	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1	640×480	31.47	60
2	720×400	31.47	70
3	800×600	37.88	60
4	1024×768	48.36	60
5	1280×720	45.00	60
6	1280×800	49.70	60
7	1280×1024	63.98	60
8	1440×900	55.94	60
9	1440×900	55.47	60
10	1600×900	60.00	60
11	1680×1050	65.29	60
12	1920×1080	67.50	60
13	1920×1200	74.04	60
14	1920×1200	74.56	60
15	2560×1080	66.00	60
16	2560×1440	88.79	60
17	3440×1440	88.82	60
18	3440×1440	73.68	50 (HDMI のみ)

高解像度ビデオフォーマット

このセクションでは、高解像度ビデオフォーマットについて示します。

表 A-3 高解像度ビデオフォーマット


プリセット	タイミング名	ピクセルフォーマット	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1	640×480p	640×480	31.47	60.00
2	720×480p	720×480	31.47	60.00
3	1280×720p	1280×720	37.50	50.00
4	1280×720p	1280×720	45.00	60.00
5	1920×1080p	1920×1080	56.26	50.00
6	1920×1080p	1920×1080	67.50	60.00

省電力機能

このモニターでは、省電力状態がサポートされます。

水平同期信号または垂直同期信号が検出されない場合、モニターは省電力状態になります。このように信号が検出されない場合は、モニターの画面には何も表示されず、バックライトはオフになり、電源ランプはオレンジ色に点灯します。省電力状態のモニターの消費電力は 0.5 W 未満です。短時間のウォームアップ後に通常の動作状態に戻ります。

省電力モードの設定の手順については、コンピューターに付属の説明書を参照してください(省電力機能は、エネルギーセーブ機能、パワーマネジメント機能、節電機能など、説明書によって名称が異なる場合があります)。

 **注記:** このモニターの省電力機能は、省電力機能に対応するコンピューターに接続されている場合にのみ有効です。

モニターの[Sleep Timer] (スリープタイマー) ユーティリティ内で設定値を選択すると、事前に決めた時刻にモニターが省電力状態になるように設定することもできます。モニターの[Sleep Timer] ユーティリティによって省電力状態になると、電源ランプはオレンジ色で点滅します。

B ユーザーサポート

HP は、単体でも、または適切な他社製支援技術（AT）デバイスやアプリケーションと組み合わせることで、誰もがどこからでも使用できる製品、サービス、および情報を設計して製造し、お客様に提供することを目標にしています。

HP とユーザーサポート

HP はダイバーシティ（人材の多様性）、インクルージョン（受容）、およびワークライフバランスを会社を構成する基本と考えており、HP のあらゆる業務にこの考えが反映されています。HP は、世界中で人と技術力を結び付けることを重視した、すべての人が活躍できる環境作りを目指しています。

必要なテクノロジーツールの確認

テクノロジーは、人間の潜在能力を引き出すことができます。支援技術は、障壁を取り除き、自宅、職場、およびコミュニティでの自立を後押しするためのものです。支援技術によって電子技術や情報技術の機能を向上、維持、および改善できます。

詳しくは、[37 ページの「最適な支援技術の確認」](#)を参照してください。

HP の取り組み

HP は、お身体の不自由な方にもご利用いただける製品やサービスを提供できるよう取り組んでいます。こうした取り組みは、会社の目標であるダイバーシティを実現し、あらゆる人が確実にテクノロジーを活用できるようにするために役立ちます。

ユーザーサポートにおける HP の目標は、単体で、または適切な補助ツールや支援技術と組み合わせることにより、お身体の不自由な方にも効果的にお使いいただけるような製品やサービスを設計、製造、販売することです。

目標達成のために、この HP ユーザーサポートポリシーでは、HP の取り組みの指針となる 7 つの主要な目標が設定されています。HP のすべてのマネージャーおよび従業員は、自分の役割や責任に従ってこれらの目標とその実現をサポートするよう期待されます。

- 社内においてユーザーサポート問題への認識を高めて、お身体の不自由な方にもご利用いただける製品やサービスの設計、製造、販売、および配送に必要なトレーニングを従業員に提供します。
- 製品やサービスに関するユーザーサポートのガイドラインを作成し、製品開発グループに対しては、競争力、技術、および経済性の観点から実現可能な範囲でガイドラインに従う責任を課します。
- お身体の不自由な方に、ユーザーサポートのガイドラインの作成、および製品やサービスの設計およびテストに参加していただきます。
- ユーザーサポート機能を文書化し、HP の製品やサービスに関する情報を、お身体の不自由な方にもご利用いただける形で一般に公開します。
- 最先端の支援技術および支援ソリューションのプロバイダーとの関係を築きます。

- HP の製品やサービスに関連する支援技術を向上させる社内および社外での研究開発をサポートします。
- ユーザー サポートに関する業界の標準やガイドラインを支持し、それらに貢献します。

IAAP (International Association of Accessibility Professionals)

IAAP は、人の交流、教育、および認定を通じてユーザー サポートに関する専門職の発展を目指す非営利団体です。ユーザー サポートの専門家のキャリア形成やキャリアアップを支援したり、企業がユーザー サポートを自社の製品やインフラストラクチャに組み込めるようにすることを目標としています。

設立メンバーとして、HP は他の企業と協力してユーザー サポートの分野を発展させるために加わりました。この取り組みは、お身体の不自由な方にも効果的にお使いいただける製品やサービスを設計、製造、販売するという HP のユーザー サポートの目標の達成を後押しします。

IAAP は、世界中の個人、学生、および組織を結び付け、お互いに学び合えるようにすることで、ユーザー サポート業務自体をも強めることにつながります。詳しい情報をお知りになりたい場合は、<http://www.accessibilityassociation.org> にアクセスして、オンライン コミュニティに参加したり、ニュースレターにサインアップしたり、メンバーシップの種類を確認したりしてください。

最適な支援技術の確認

お身体の不自由な方やご年配の方も含め、すべての人がテクノロジーを用いてコミュニケーションをとり、自己表現し、世界とつながりを持てるようになるべきだと HP は考えます。HP は、社内だけでなく、お客様やパートナーとともに、ユーザー サポートに関する意識の向上に努めています。

目にやさしい大きいフォント、両手を休ませることができる音声認識、特定の状況で役立つその他の支援技術など、さまざまな支援技術が HP 製品の操作性を向上させるために利用されています。以下のセクションでは、支援技術や製品を選択する方法を説明します。

ご自身のニーズの評価

テクノロジーは、お客様の能力を引き出すことができます。支援技術は、障壁を取り除き、自宅、職場、およびコミュニティでの自立を後押しするためのものです。支援技術 (AT) によって電子技術や情報技術の機能を向上、維持、および改善できます。

お客様は多数の AT 製品から選択できます。AT の評価では、いくつかの製品を評価し、疑問点を解決し、状況に合った最善のソリューションを選択できるようにする必要があります。AT を評価する資格を持つ専門家の専門分野は多岐にわたり、理学療法、作業療法、音声言語病理学、およびその他の専門分野で免許や認定を取得した人が含まれます。ただし、認定や免許がなくても評価情報を提供できます。個人の経験、専門知識、および料金について尋ね、ご自身のニーズに合っているかを判断してください。

HP 製品のユーザー サポート

以下のリンクでは、各種の HP 製品に組み込まれているユーザー サポート機能および支援技術 (該当する場合およびお住まいの国/地域でご利用いただける場合) について説明しています。状況に最も適した支援技術の機能や製品を選択するために役立つリソースです。

- HP Aging & Accessibility : <http://www.hp.com> にアクセスし、検索ボックスに「Accessibility」と入力します。[Office of Aging and Accessibility]を選択します。

- HP 製コンピューター：Windows 7、Windows 8、および Windows 10 の場合は、<http://www.hp.com/support> にアクセスして、[ナレッジライブラリーを検索]の検索ボックスに「Windows のユーザー サポート オプション」と入力します。検索結果で該当するオペレーティングシステムを選択します。
- HP のショップ、HP 製品の周辺機器：<http://store.hp.com> にアクセスし、[Shop]（ショッピング）→[Monitors]（モニター）または[Accessories]（アクセサリ）の順に選択します。

HP 製品のユーザー サポート機能の他に追加のサポートも必要な場合は、[40 ページの「サポート窓口へのお問い合わせ」](#)を参照してください。

追加の支援を提供できる外部のパートナーやサプライヤーへのリンクは以下のとおりです。

- [マイクロソフトのアクセシビリティへの取り組み（Windows 7、Windows 8、Windows 10、Microsoft Office）](#)
- [Google ユーザー補助機能（Android、Chrome、Google アプリ）](#)

標準および法令

世界各国では、お身体の不自由な方向けの製品やサービスを利用しやすくするための規則が制定されています。これらの規制は歴史的に、通信関連製品およびサービス、特定の通信や動画再生機能を備えたコンピューターおよびプリンター、またそれらに関連する取扱説明書やカスタマー サポートに適用されています。

標準

FAR（Federal Acquisition Regulation：連邦調達規則）に言及されている Rehabilitation Act の 508 条は、US Access Board によって、身体、知覚、または認知の障がいがある方が情報通信技術（ICT）にアクセスできることを明記するために策定されました。

この標準には、対象製品の機能に重点を置いた性能ベースの要件に加えて、各種テクノロジーに固有の技術基準が含まれています。固有の基準は、ソフトウェアアプリケーションおよびオペレーティングシステム、Web ベースの情報およびアプリケーション、コンピューター、電気通信関連の製品、動画やマルチメディア、および独立式の閉鎖型製品を対象とします。

Mandate 376 – EN 301 549（欧州連合同向け）

The European Union created the EN 301 549 standard within Mandate 376 as an online toolkit for public procurement of ICT products. The standard specifies the accessibility requirements applicable to ICT products and services, with a description of the test procedures and evaluation methodology for each requirement.

WCAG（Web Content Accessibility Guidelines）

W3C の WAI（Web Accessibility Initiative）によって公開された WCAG（Web Content Accessibility Guidelines）は、Web の設計者や開発者が、お身体の不自由な方やご年配の方のニーズに合ったサイトを作成するために役立ちます。

WCAG は、さまざまな Web コンテンツ（テキスト、画像、オーディオ、動画）および Web アプリケーションによってユーザー サポートを向上させるガイドラインです。WCAG は厳密にテストでき、理解や使用が容易で、Web 開発者が新しい発想を取り入れられるように柔軟性を持たせています。WCAG 2.0 は、[ISO/IEC 40500:2012](#) としても承認されました。

WCAG では特に、視覚、聴覚、身体、認知、神経の障がいがある方やサポートを必要とするご年配の Web ユーザーが Web 利用時に直面する障壁に対応しています。WCAG 2.0 にはお身体の不自由な方でも利用しやすいコンテンツの特徴が明記されています。

- **知覚可能**（画像のテキストによる代替、オーディオのキャプション、提供方法への適応性、色のコントラストなど）
- **操作可能**（キーボード操作、色のコントラスト、タイミング調整、発作の防止、ナビゲーション可能）
- **理解可能**（読みやすさ、予測可能性、入力支援など）
- **堅牢性**（支援技術との互換性など）


法令および規制

IT および情報のユーザーサポートは、法的な重要性が高まりつつある分野になってきました。これらのリンクから、主要な法令、規制、および標準に関する情報を確認できます（英語のみ）。

- [United States（米国向け）](#)
- [Canada（カナダ向け）](#)
- [Europe（欧州向け）](#)
- [Australia（オーストラリア向け）](#)

ユーザーサポートに関する役立つリソースおよびリンク

以下の組織から、障がいや年齢による身体的制限に関する適切な情報を得られる場合があります。

 **注記:** この一覧に記載されている組織がすべてではありません。これらの組織は、情報提供のみを目的として記載されています。インターネットで確認された情報または連絡先について HP は一切の責任を負わないものとします。このページの一覧は、HP による推奨を示すものではありません。

組織（英語のみ）

これらの組織は、障がいや年齢による身体的制限に関する情報を提供する多くの組織の一部です。

- AAPD（American Association of People with Disabilities）
- ATAP（Association of Assistive Technology Act Programs）
- HLAA（Hearing Loss Association of America）
- ITTATC（Information Technology Technical Assistance and Training Center）
- Lighthouse International
- National Association of the Deaf
- National Federation of the Blind
- RESNA（Rehabilitation Engineering & Assistive Technology Society of North America）
- TDI（Telecommunications for the Deaf and Hard of Hearing, Inc.）

- W3C WAI (Web Accessibility Initiative)

教育機関（英語のみ）

これらの例を含む多くの教育機関が、障がいや年齢による身体的制限に関する情報を提供しています。

- カリフォルニア州立大学ノースリッジ校、Center on Disabilities
- ウィスコンシン大学マディソン校、Trace Center
- ミネソタ大学、Computer Accommodations Program

障がいに関するその他のリソース（英語のみ）

これらの例を含む多くのリソースが、障がいや年齢による身体的制限に関する情報を提供しています。

- ADA (Americans with Disabilities Act) Technical Assistance Program
- ILO Global Business and Disability Network
- EnableMart
- European Disability Forum (欧州障害フォーラム)
- Job Accommodation Network
- Microsoft Enable

HP のリンク

これらの HP 固有のリンクでは、障がいや年齢による身体的制限に関する情報が提供されます。

[HP の『快適に使用していただくために』\(言語を選択してください\)](#)

[HP の公的機関への販売 \(米国向け\)](#)

サポート窓口へのお問い合わせ

HP では、お身体の不自由なお客様向けにテクニカル サポートおよびユーザー サポート オプションを提供しています。

 **注記：** サポートは英語でのみ提供されます。

- HP 製品のテクニカル サポートまたはユーザー サポートに関するご質問のある、耳の不自由なお客様は以下の操作を行ってください。
 - TRS/VRS/WebCapTel を使用して、(877) 656-7058 までお問い合わせください (月曜～金曜の 6:00～21:00、山岳標準時)。
- HP 製品のテクニカル サポートまたはユーザー サポートに関するご質問のある、その他のお身体の不自由なお客様、または年齢による身体的制限のあるお客様は、以下のどちらかを選択してください。
 - (888) 259-5707 までお問い合わせください (月曜～金曜の 6:00～21:00、山岳標準時)。
 - [Contact form for people with disabilities or age-related limitations](#) (お身体の不自由な方または年齢による身体的制限のある方のお問い合わせフォーム) に必要な情報を入力してください。

索引

記号/数字

508 条のユーザー サポートに関する標準 38

A

AT (支援技術)

確認 37

目的 36

D

DisplayPort 5

H

HDMI 入力端子 5

HP 支援ポリシー 36

HP のサポート 2

HP リソース 2

I

International Association of
Accessibility Professionals 37

O

OSD ボタン 4

U

USB Type-C ポート 5

あ

安全に関する情報 1

お

オーディオ出力 (ヘッドフォン)

コネクタ 5

お使いになる前に 1

か

各部

前面 4

背面 5

画質の最適化 (アナログ入
力) 27, 29

カスタマー サポート、ユーザー サ
ポート 40

け

警告 1

こ

コネクタ

DisplayPort 5

Mini DisplayPort 5

オーディオ出力 (ヘッドフォ
ン) 5

電源 5

さ

サポート 2

し

支援技術 (AT)

確認 37

目的 36

自動調整 (アナログ入力) 27

シリアル番号 6

せ

製品番号 6

製品ラベル 6

前面の各部 4

て

テクニカル サポート 2

テクニカル サポートの利用 2

電源コネクタ 5

は

背面の各部 5

ひ

標準および法令、ユーザー サポー
ト 38

ほ

ポート

HDMI 5

USB Type-C 5

め

メニュー ボタン 4

も

モデル

仕様 33

モデルの仕様 33

モニターの概要 3

ゆ

ユーザー サポート 36, 37, 39, 40

ユーザー サポートに必要な評
価 37

ら

ラベル 6

り

リソース、ユーザー サポート 39